

○応募資格

- ・2023 年 4 月 1 日から原則として 2 年間奨学金を受給できる者

※現課程の在籍残期間 2 年に満たない場合でも応募は可能です。

※2023 年 4 月または 10 月に進学予定の場合は、申請時点で進学が決定していることを条件とします。

- ・アジア諸国出身の者

※2023 年度は財団の要望により中国籍、韓国籍の学生は対象外とします。

- ・成績評価係数が 2.4 以上（大学院生は 2.6 以上）の者

※現課程に入学したばかりで成績証明書が発行できない場合は、前課程の成績証明書で評価係数を算出してください。

※大学院で 2.6 以上であることが算出できていれば、学部で 2.4 以下となってしまう場合でも応募は可能です。

- ・1 月 6 日（火）15：00～（予定）の留学生課面接および 2 月 15 日（水）の財団面接に必ず出席できる者

- ・応募の時点以降に確実に日本にいる者

- ・日本語能力が十分な者（N1 程度、未取得でも可）

※日本語で自分の研究内容・将来の目標等を説明できる程度

- ・財団が主催する奨学生交流会（年 4 回程度）に必ず出席できる者

○応募書類

※記入上の注意、記入例および下記をよくご確認のうえ作成願います。

（1）奨学金申請書（所定様式）

※担当部課等の欄は留学生課で記入のため、空欄のままご提出ください。

（2）履歴書（所定様式）

※現在までの学歴に空白期間がないよう記入すること（数か月のみであっても、研究生等や進学準備期間について全て記入すること）

(3) 本人申告書及び本人申告書の別添記入用紙（所定様式）

※「(2)経済状況」欄の 2022 年度授業料については、申請時は空欄で提出ください。

※「(3)連絡先」欄は留学生の友人等ではなく、確実に日本で連絡の取れる方を記入願います。（指導教員や事務担当でも可）

(4) 在学証明書または合格通知書（進学予定者のみ）の写し

※応募書類の提出時点で合否未定の者は応募不可

(5) 在留カードの写し（両面）

(6) 成績証明書：学士課程以降、直近のものまで

※直近のもの以外は写し可。留学生課選考で使用しますので、別紙を参照 のうえ算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入願います。

(7) 推薦状：A4 用紙 1 枚（様式任意）、指導教員により作成のこと

※内容確認のため、封印せずに提出願います。

(8) 日本語能力試験の「認定書」および「合否結果通知書」の写し

※資格取得者のみ、得点表記のあるもの